

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2018年2月25日号

障害年金が打ち切られる!?

これは脅迫状か!?

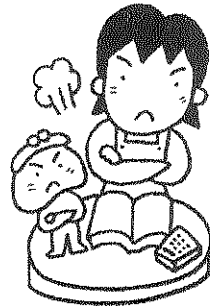
障害年金を受けておられる方に対し、最近、要旨、次のような手紙が届きました。

今回、現況届(診断書)を提出して頂きましたが、審査の結果、受給できる障害の程度にあると判断できませんでした。しかし今回は従前通りとし、来年度、改めて診断書を提出して頂くこととなります。診断内容が今回と同様なら支給停止となることもあります。この障害程度では、年金対象にはならない可能性があります。

そこでこの手紙を受け取った人が年金センターに電話。「現況届けの障害程度は従来と変わっていないのに、何故今回、こんな手紙が来たのか。来年度、打ち切られるのか」。返事は「精査させて頂いた、今後どうするかは未定」とのこと。

相談を受けた井上議員が調査すると、全国的に、この手紙が届いたのは、この方だけではないことが分かりました。井上議員も同センターに電話しました。「基準が変わったわけではない」「ではなぜ対応が異なるのか」「審査させて頂いた」「答えになっていない!」「...」「年金はいのちの綱だ。障害者の皆さんを不安におとしめるようなやり方は撤回すべき」「...」、等々、あいまいな返事に終始しました。井上議員は、倉林明子参議院議員など、党国会議員団とも連携し、引き続き追及の予定です。

中央市場の、価格安定や生産者・消費者の安心など、その本来の公的役割を發揮するよう求めました。今、政府は、市場の集荷や出荷など中小零細業者を守る仕組みを崩し、強い者勝ちで、大手商業資本が有利になるよう、市場の変質を進めようとしています。同議員は、「国追及では、中小の生産者が排除されること、危険が懸念される。国にも声をあげ、中央市場本来の役割を」と求めました。



①市がすべき仕事を民間に。市の役割後退。(例えば八条団地建替館など、必要以上の規模への建替え、JR梅小路新駅から七条通りをまたぐ横断陸橋等々)、④10年一日の如く、「財政危機」を強調、打開

国が制定した「民泊新法」(民泊を更に助長)にもとづいて、市長も民泊条例案を提案。しかし国言いなりで、自治体として歯止めを掛けるものになっていません。日本共産党市議団は、細街路での営

19日の補正予算委員会で、井上議員は、中

国追及をやめ、中央市場本来の役割發揮を

業規制や事業者の常駐を要件とするなど、修正案を対置、他党に賛

同を呼び掛けています。

市長の民泊条例案に党市議団が修正案を提案

と克服の展望を明らかにできず、殊更に「文

算委員会でも要求中です。

「世界一企業が活動しやすい日本に」(首相)ならぬ、「日本一企業が活動しやすい京都に」!?

介護保険料・保育料など値上げの一方、大型事業推進
国言いなりも大きな特徴

「来年度京都市予算案・方針案より」

9日、市長が来年度の市予算案・方針案を発表、議会審議が始まっています。市長提案方針の特徴は――。

②介護保険料・保育料・深草墓園納骨料等の値上げ、③大型開発を推進、ム

えは、住民との折衝に民間会社が参入、学校跡地をホテルに、等)、

⑤施設の統廃合を推進。⑥国言いなり、追隨の姿勢が目立つ、等々。共産党議員団は、ム



「雪が溶けたら(水ではなく)春になる。もうすぐですね」と南区生活と健康を守る会新春のつどいで挨拶させて頂きました。